

令和7年9月25日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院先端科学研究部長
磯部 博志（公印省略）

熊本大学大学院先端科学研究部基礎科学部門化学分野テニュアトラック准教授候補者の公募について

標記のことについて、本学大学院先端科学研究部基礎科学部門化学分野のテニュアトラック准教授候補者の公募を行うことになりました。

ついては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、貴機関関係各位に周知方よろしくお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 募集職名及び人員 テニュアトラック准教授 1名
2. 採用時期 令和8年4月1日以降のできるだけ早い時期
3. 専門分野 分析化学
特に極微量な化学物質の解析に不可欠な分析手法を創出し、化学物質の環境動態を解明していく研究や半導体の高度化に資する研究を展開できる方
4. 所属 熊本大学大学院先端科学研究部基礎科学部門化学分野
5. 担当科目
博士前期・後期課程における専門分野の講義・演習・研究指導、理学部における分析化学の講義や演習・学生実験、基礎化学に関連する全学教養教育科目など
6. 応募資格
博士あるいはPhDの学位を有する方
7. 応募期限 令和7年11月25日（火）必着
8. 労働条件等
職務内容 : (雇入れ直後) テニュアトラック准教授としての業務に従事する
 (変更の範囲) 熊本大学の定める業務
勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制
 勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす
任期の定め : あり（採用後5年間）
 採用後、3年経過後に中間評価を行い、4年経過後にテニュア審査を行います。
 審査の結果、テニュアの資格があると認められた場合は、大学院先端科学研究部の准教授または教授（任期の定めなし）になることができます。
 テニュア審査は次の審査基準に基づいて行います。(1) 国内外で、当該分野における研究成果が優れていると認められること、(2) 競争的外部資金の獲得があること、など。また、審査はライフイベント（出産・育児・介護等）による中断期間を考

慮した業績にて行うこととします。

試用期間 : 6 か月
勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学黒髪キャンパス
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
賃金等 : 国立大学法人熊本大学 2 号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
雇用者 : 国立大学法人熊本大学

9. 研究費・研究環境等

- (1) 採用された年度から 5 年度間は、年間 100 万円の研究費を措置します。
- (2) 研究の支援等を行うメンターとして、テニュアトラック教員と専門分野の近い大学院先端科学研究部の教授を充てます。

10. 提出書類

以下の書類を全て A4 版またはレターサイズで統一して提出してください。

- (1) 履歴書 (様式なし) 2 部
様式の指定はありません。写真を添付し、氏名、性別、生年月日、現住所、電話番号、電子メールアドレス、学歴、学位、職歴などを記載してください。また、男女を問わず、出産、育児、介護に専念 (あるいは従事) した期間について考慮されることを希望する場合は、付記して下さい。
- (2) 業績リスト 2 部
審査を経た論文、著書・総説、その他 (紀要、特許など) に分類し、公表年を降順に並べてください。その際、論文の責任著者 (corresponding author) には*印をつけ、応募者が統括または主要な貢献をした論文には○印を付けて下さい。また、応募時における発表論文誌のインパクト・ファクターと各論文の被引用回数もそれぞれに記載してください。学会発表は、本人が発表した招待・依頼講演のみとします。
- (3) 論文別刷 (研究業績リスト掲載の査読付き主要論文 5 編以内の別刷り、コピー可) 2 組
研究業績リストの該当論文に◎印を付けて下さい。
- (4) 競争的研究資金の取得状況 2 部
科学研究費補助金とその他助成金を分け、その種目、研究課題名、助成期間、代表・分担の区別、補助金の総額を明記してください。
- (5) これまでの研究概要 (2,000 文字程度) 2 部
- (6) 今後の研究計画 (2,000 文字程度) 2 部
- (7) 学生の教育に対する抱負 (1,000 文字程度) 2 部
- (8) その他、海外における研究または海外の研究者との共同研究など、特筆すべき事項 2 部
- (9) 応募者について所見を求めることができる方 (2 名以内) の氏名・所属・連絡先 2 部
連絡先には、電子メールアドレス及び電話番号を記入してください。
- (10) 申告書 (様式有) 2 部
申告書は以下の本学ホームページに掲載のテンプレートをご使用ください。
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>

11. 提出方法

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、配送状況を追跡可能な郵便または宅配便で下記提出先までお送りください。また、提出書類を pdf 形式で保存したファイルを含むメディア (CD/DVD や USB メモリなど) も同時に提出して下さい。

- 12. 選考方法
- 第一次選考 書類審査
- 第二次選考 面接審査

※面接に係る旅費等の経費は自己負担となります。海外在住等で対面での面接が難しい場合はご相談ください。詳しくは、第一次選考後にお知らせします。

1 3. 応募書類送付先および問合せ先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1

熊本大学大学院先端科学研究部基礎科学部門化学分野長 入江 亮

TEL : 096-342-3379、E-mail : irie@kumamoto-u.ac.jp

1 4. その他

- ・熊本大学はヤング・テニユア・トラック制度を構築し、若くて優秀な研究者の雇用促進に努めます。
- ・熊本大学は、ダイバーシティを推進しています。
<http://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities>
- ・選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・業績の評価に当たっては、産前産後休暇、育児・介護休業及び育児・介護のための短時間勤務の期間について、応募者が不利にならないよう考慮します。
- ・熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜准教授の場合＞ 800 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。
https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct
- ・応募書類に含まれる個人情報、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。
なお、応募書類および提出物は返却しません。